

大阪市立 築港中学校



所在地 〒552-0021 港区築港1丁目2番41号
TEL 06-6575-3092
FAX 06-6575-2463
校長名 西村 有里 (にしむら ゆり)



学校の紹介・校長メッセージ

昭和53(1978)年に港区で5番目の中学校として開校し、48年目を迎える伝統ある学校です。正門にある立派な桜と、色とりどりのプランターの花が来校者を迎えてくれます。玄関を入ると広々としたビロティがあり、校舎は老朽化してきていますが清掃活動は行き届き、美しさを保っています。敷地は広く、校舎を抜けると芝生広場・体育館・プール・格技室・テニ

スコートがあります。校区には、海遊館をはじめ天保山や赤レンガ倉庫(クラシックカーミュージアム)など、魅力ある築港ベイエリアが広がり、教育環境としてとても充実しています。海遊館の協力のもと研究プロジェクトチームを立ち上げて交流学習会を行っており、その研究成果は全国大会において優秀賞を受賞しました。

校訓

「自主」「協調」「責任」

学校教育目標

変化の激しい社会を生き抜く力と対応する力をもった生徒を育成する。

めざす生徒像

総合的な人間力を身に付けた生徒

- 自ら考え、学び、創造する生徒
- お互いに違いを認め合い、助け合う生徒
- 協調性をもって社会と関わり生きていける生徒

めざす教員像

No Child left Behind!

- 豊かな人間性と思いやりのある教員
- 子どもの良さや可能性を引き出し、伸ばすことができる教員
- 責任感・協調性があり、互いに高め合う教員

- ・令和9年4月に、築港中学校は港中学校と統合します。
- ・令和8年度の新入生は、1年間だけ築港中学校で学校生活を送ることになります。
- ・中学2年生からの2年間は、現在の港中学校の校地にできる「新しい中学校」に通学することになります。

以上をご理解の上で、本校の選択をお願いいたします。

運営に関する計画

【安全・安心な教育の推進】

(年度末の校内調査における)

- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する生徒の割合を80%以上にします。
- 「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を98.5%以上にします。
- 「友だちの気持ちを考え、友だちを大切にしている」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を95%以上にします。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点

の対称性を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。

- 大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)を60%以上にします。
- 年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を65%以上にします。

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が年間授業日の50%以上にします。[ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く]

●令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状

| 平均正答率(%) | 国語 | 数学 |
|----------|----|----|
| 56 | 46 | |

【成果と課題】
 <国語>全国と比較して、「我が国の言語文化に関する事項」「書くこと」の領域において上回ることができた。一方、「言語の特徴や使いに関する事項」「情報

【今後に向けて】
 <国語>新聞記事のワークシートを家庭学習に取り入れている。
 ・説明文や説明文などのあと、調べ学習をタブレットで行い、スライドを使っての発表に取り組ませる。
 ・プリントや完全習得学習などの家庭学習を引き続き行い、「読む」力を伸ばすように取り組ませる。
 ・文法の復習を小テストなどに取り入れていく。
 <数学>全領域において、基礎・基本の習得をすべての生徒ができるように、授業中の確認をしっかり行い、生徒たちが相互に教えあうことで達成していきたい。

●令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から明らかになった現状

| 項目 | 握力(kg) | 上体起こし(回数) | 長座体前屈(cm) | 反復横とび(回数) | 20mシャトルラン(回数) | 50m走(秒) | 立ち幅とび(cm) | ボール投げ(m) | 体力合計点 |
|----|--------|-----------|-----------|-----------|---------------|---------|-----------|----------|-------|
| 男子 | 24.09 | 20.73 | 40.55 | 49.64 | 79.91 | 8.29 | 183.64 | 18.00 | 34.70 |
| 女子 | 25.14 | 23.00 | 48.14 | 54.00 | 60.71 | 8.59 | 171.43 | 17.43 | 56.43 |

<成果>

男子では、全国・大阪市と比較して、20mシャトルランを除いて、すべての種目・体力合計点において下回った。
 女子では、全国・大阪市と比較して、ほとんどの種目で本校が上回った。したがって体力合計点において大きく上回った。

<課題>

男子の体力・能力面では、課題がある。

<今後に向けて>

体育の授業以外の取り組みを増やしていく。例えば、体育館の昼休みの開放、放課後の補習での体力づくりなど。
 補強運動では、この一年間で、男女とも、決められた時間内にできる回数が増加しているため、今後も継続して行うことで基礎体力の向上をはかる。

令和8年度の新入生は、1年間だけ築港中学校で学校生活を送ることになります。中学2年生からの2年間は、現在の港中学校の校地にできる「新しい中学校」に通学することになります。たった1年間ですが、統合に向けて体制を強化し、他校と交流事業等も行い、魅力ある学校にしていきたい。

全校生徒は、令和7年5月1日現在55名ですが、技術の教員(港中学校から週一回兼務勤務)以外は、国語・社会・数学・理科・英語・保健体育については2名ずつの教員がおります(音楽・美術・家庭は、各1名の教員)。少人数授業・習熟度別授業では、少ない生徒をさらに2分割し、習熟度に分けて授業を行っている時間もあります。先日の数学の授業では、サポーターも入り、ほぼ一対一で寄り添って授業をしていました。

●築港中学校でしかできないこと《その1》～海遊館部の活動について～

平成25年7月19日にスタートした活動は、今年で、13年目を迎えました。これまで、石見漁体験(海老江干潟)・干潟生物調査(野鳥園)・干潟保全作業(野鳥園)・アカテガニ観察会(野鳥園)・第5回淀川河口域を考える会での発表(大阪港ビル)・天保山岸壁のアーユ調査(海遊館)・岸壁調査(海遊館)など行いました。令和7年度、海遊館部の活動には、全校生徒のうち、約47%の26名が参加しています。他の部活動との兼部が可能です。他の部活動の大会等の時は、大会を優先し、大会に出場することが可能です。

●築港中学校でしかできないこと《その2》

文化祭は、部活動や教科の発表以外に、全校生徒が演劇・音楽・展示の3グループに分かれて発表する内容もあります。昼休みは、学年関係なくサッカーやドッジボールをしています。

●築港中学校でしかできないこと《その3》

中学校によっては、毎日、図書室を開館していても、学年によって曜日や時間が制限されています。本校の図書室は、開館時は、いつも利用できます。読書好きにはおすすめです。



▲春の渡り鳥観察会(野鳥園)



▲干潟保全作業(野鳥園)



▲天保山岸壁アーユ調査



▲淀川河口域を考える会での発表を伝える新聞記事

●卒業後の主な進路【過去3年間】

卒業生 R4年度19名、R5年度22名、R6年度15名 進路先の人数は過去3年間の累計で表示

公立高校等

今宮(2)、今宮工、教育センター附属(2)、柴島(2)、吹くやこの花(2)、成城(3)、大正白樺(2)、中央(2)、難波支援、西野田工(3)、東、東淀川、布施北(4)、港(4)、都島工(2)、淀高

私立高校等

進手門学院大手前(2)、大阪、大阪学院大(2)、大阪芸芸、大阪つくば開成、関大北陽、近大附、金蘭会、奥国(3)、東朋、長尾谷、西大和学園、武庫川女子大附、桃山学院(2)

専修学校等

クランク高等学院、ルネサンス大阪(2)、就職等

学校名等の後ろの()内は2名以上の進学者等の人数を表示しています。